

正負の数の計算の仕方(加法と減法の混じった計算)

教科書 P25~P27

正負の数の加法と減法の混じった計算は、**すべて加法に直す**だけです！！

$$\begin{aligned}
 & (+3) - (-5) - (+4) + (-8) \\
 & = (+3) + (+5) + (-4) + (-8) \\
 & = (+8) + (-12) \\
 & = -4
 \end{aligned}$$

加法に直す！

3つ以上の加法(復習)

ということで、なんだ簡単じゃないかと感じた人も多いでしょう。

しかし、ここからが数学のすばらしさ？ともいえる**もっと楽にできないか**という考え方ができます。

それは**項**という考え方です。

$$\begin{aligned}
 & (+3) - (-5) - (+4) + (-8) \\
 & = (+3) + (+5) + (-4) + (-8) \\
 & = 3 + 5 - 4 - 8 \\
 & = 8 - 12 \\
 & = -4
 \end{aligned}$$

加法だけの式になっているときは、() と + (加法) の記号は省略してもいいんじゃない？

加法で表された
+3, +5, -4, -8
を 3 + 5 - 4 - 8
の**項**という

最初の数が正の数の場合
は+の符号を省略できる

ということで、+ (加法の記号) と () は**省略するシステム**になりました。

これからは、+ (記号のたす) と (符号のプラス)、- (記号のひく) と (符号のマイナス) を**区別しながら計算していく必要がある**。←慣れるまで大変だけど、慣れると簡単だよ

$$\begin{aligned}
 & -17 + (+25) + 3 + (-14) \\
 & = -17 + 25 + 3 - 14 \\
 & = 25 + 3 - 17 - 14 \\
 & = 28 - 31 \\
 & = -3
 \end{aligned}$$

①- (減法) に着目して記号 (-) と符号を変える
②項を囲む。基本的に絶対値と符号は切り離せない。
③項だけの式が完成！！